

## 18 豊橋自然歩道の存続を求める陳情

先日配布された広報とよはし6月号には、豊橋自然歩道の管理区域の縮小に伴い、9月1日から赤岩自然歩道、赤岩寺自然歩道、多米自然歩道、神石山自然歩道、普門寺自然歩道など10路線を廃止するとの情報が掲載されました。観光プロモーション課のホームページには、「廃止後は立入禁止となりますので、立入りができないようにロープ・杭等を設置します。」ということも示されています。

弓張山地の山々は本市東部住民にとってはまさにふるさとを象徴する存在です。健康維持のために山歩きする人も多く、オヤジの会などでは子どもたちのふるさとへの愛着を育む恒例行事の一つとして山歩きも行っています。地域外からも多くの方が訪れてくれることは地域住民の誇りでもあります。廃止予定路線はこれらに大きな役割を果たしています。そして、この自然歩道は石巻山多米県立自然公園の公園事業として位置づけられています。

閉鎖自然歩道への立入禁止により、身近にあった弓張山地が遠い存在になってしまうことが危惧されます。地元としても自然歩道の今後の維持管理について積極的に協力をしていきたいと考えています。市民の郷土愛を守るために、豊橋自然歩道の存続をしていただくよう、次の事項について陳情します。

### 記

- 1 市が引き続き自然歩道管理者としての責任を持ち、広く地域住民や自然公園利用者などの意見や協力を得て、新たな維持協力的グループや維持活動を募るなど自然歩道の存続に努めること
- 2 存続努力を最大限行った上でやむを得ず維持管理作業を行わない路線については、危険性について注意を促した上で立入りを可能にすること
- 3 利用者によるパトロールや情報の提供など、利用者も維持管理に関わる態勢づくりに取り組むこと

多米校区自治会

会長 川本 恭久